

教育広報

# かけはし

第2号 平成3年10月25日発行

発行 千代田区教育委員会



秋 運動会たけなわ

9月26日一橋中ではクラス対抗リレーに  
大歓声があがっていました。

主な記事

- ◆座談会「学校週五日制」  
—土曜日はどうなるの—
- ◆スポーツ交流  
—姉妹都市との“かけはし”—
- ◆スキー講習会 参加者募集
- ◆校外施設だより  
—保田臨海学園—

\*教育広報「かけはし」は資源保護  
のため再生紙を使用しています。

# 学校週五日制

## 土曜日はどうなるの

最近各方面で「学校週五日制」が話題にされることが多くなってきました。現在、全国九都府八八校が文部省の調査研究協力校としてさまざまな試行にこり組んでいます。そこで、区内で協力校に指定され、今年度毎月一回土曜休業の試行を実施している芳林小学校、練成中学校の両校長先生と、保護者の皆さんに意見を交わしていただきました。(この座談会は九月二〇日に行われたものです。)

### 出席者 (敬称略)

- 鎗田 一宏 (芳林幼稚園 小学校長)
- 青柳 健一 (練成中学校長)
- 河野 宏子 (廻田小学校保護者)
- 小松 恵子 (神田小学校保護者)
- 中馬 義枝 (廻田中学校保護者)
- 久保田富三郎 (練成中学校保護者)
- 司会 前田 烈 (教育委員会指導室長)

### 親子への影響は?

**司会** はじめに、試行にあられた校長先生からおねがいます。  
**鎗田** 「学校週五日制」ということ、すべに「先生の週休二日制」が問題にされる傾向がありますが、純粋に子どもの問題として考えていくことが大切です。単に学力という狭い観点ではなく、人間形成という広い観点から考えて、子どもにとって週五日制が本当に価値のあるものなのか。あるとすれば、どういう形がベストなのかを考えながら、今日までいろいろ試行をしてみました。  
**青柳** これまでに試行を経験してきた練成中学校の保護者の声と、全く実情をご存知ない他の地域の保護者の声とはだいぶニュアンスが違っているようです。今日は、「座談会」という意識ではなくて、率直な意見を伺いたいと思います。  
**小松** 学校が土曜日休みになることについては、いろいろ不安をもっています。私の住んでいる地域は商店

が多いので、子どもだけが週休二日になると親が大変になるのではないかと思います。また土曜日の授業が他の日に振り替えられて、子どもの負担が増えるのではないかと心配もありません。



小松さん

**中馬** 確かに大人の世界の「週休二日制」とはわけが違ふと思います。受験競争が激しい時ですので、土曜日が休みになったからといって、一日遊べるということにはならないと思います。逆に子どもたちの負担が大きくなるかもしれないと思うので、五日制がはたして子どもたちにいいものかどうか心配しております。  
**鎗田** 小学校高学年においては、年間一、〇一五時間の授業時間を確保するように決められています。で



中馬さん

すから、土曜日の授業時間が減った分については、学校行事を精選したり、短縮授業を減らしたりするなど工夫をしています。月一回ぐらいの土曜休業なら、こつすることによって現行の授業時数は確保できるという見通しです。

**青柳** 年間授業日数について外国と比較してみますと、アメリカやフランスが一八〇日、イギリスが二〇〇日、それに対し日本では現在約二四〇日もあります。その上、放課後部活動をし、塾へも行っています。日本の子どもにはゆとりがなくて、疲れているようです。ですから、週五日制にして土曜日は子どもたちがリフレッシュできる機会にしたい。そういうことで、月曜日から金曜日までの授業に一段と集中力が出て、学習意欲が高まり、大きな成果が期待できると思います。  
**河野** 今の子どもたちは時間に追わ

## 調査研究協力校の保護者に対するアンケート結果

● 1年間の試行を経験して、学校週五日制をどう思いますか?

対象 全国の協力校の保護者 7,264人

13.0%	35.0%	30.7%	18.5%
-------	-------	-------	-------

- 毎週土曜日を休みとすることに賛成
- 月1~2回の土曜日を休みとすることに賛成
- 条件が整えば賛成
- 反対
- わからない

平成3年4月 文部省調査

### <賛成の主な理由>

- ・子どもが親とふれあう時間がふえる
- ・スポーツ等、勉強以外のことをする時間がふえる

### <反対の主な理由>

- ・子どもが無駄にすごす時間がふえる
- ・学習塾に行く子がふえる

(芳林小学校調査)

### 地域と力を合せて

**司会** 先程、子どもたちの土曜日の過ごし方に不安があるというお話がありました。学校ではこれまで、どんな取り組みをされましたか。  
**青柳** 練成中学校では、バレエ・調理・生け花・美術館見学・老人ホームでのボランティア活動など十種類以上のプログラムを組み、約半数の

れてばかりです。だから、子どもたちにもそういう息抜きを時間を与えてあげたいですね。私の住んでいる所では、土曜日は町の中に人が少なくて静かな感じがします。何かほっとする気持ちです。そんな気持ちを子どもたちにも味わわせてあげたい。親の立場だけで考えると、五日制が実現すればいいなと思います。  
**青柳** 土曜日が休みになったから、その授業をどこに振り替えるか、空いたその時間を何をするかということとばかりにとらわれてはいけません。思いますが、そうでなくて、月曜日から日曜日までの一週間という単位の中で、子どもたちの生活をどう組み立てるかを見直すという観点から考えないと、五日制についての本当の理解は得られないと思います。



父母も参加して土曜もちつき大会 (芳林小)

先生と、地域やPTAの協力で土曜日に授業外活動を展開してきました。生徒の参加率は九〇パーセントを越え、充実した活動を体験し、成果があつたと思います。  
**鎗田** 芳林小学校では、親子野外活動博物館等の文化施設の催物見学、もちつき大会、スポーツ団体への体験入団、地域の公園・道路の清掃などがあります。従来学校だけでやってきたことを見直し、これからは、家庭や地域の協力で進めていくことが大切であると思います。学校では、地域の子ども会などが主催する行事に子どもたち全員を強制的に参加させるのではなくて、自分で選んで



鎗田校長

ずんで参加してもらっています。

**小松** 土曜日には地域で何かお手伝いをするのでしょうか。校庭開放のお手伝いだけでも負担に思っている保護者もあります。地域の人が少なく、お手伝いできる人が限られると、月に何回もということになって不満が出るのではないかと心配です。  
**久保田** お手伝いが保護者の割り当てになつてしまつと負担になつてしまいます。しかし、お手伝いといつても、結構子どもたちと一緒に楽しんでる方もみられます。また、外神田地域では子ども会のほか、文化体育会、交通少年団、消防少年団、スポーツクラブなどといった地域の団体の方々にもお手伝いしていただいています。「自分の地域の子どもは、地域の大人が面倒をみる」という地域の伝統に支えられています。ただ、毎週土曜日休みになった場合、こつした形でお手伝いを続けていく

のは無理があると思います。



久保田さん

**鎗田** 芳林小学校では、土曜日が休みになったとき、子どもたちが自分で自分の土曜日の生活をつくりあげていく自主性を育てることに主眼を置いて、これまで研究をしてまいりました。それには、いきなり子どもたちを突き放しても無理なので、地域やPTAの御協力をいただいで、土曜日に関するいろいろな行事を企画してきました。これは、様々な体験を通して、子どもたちが自分にふさわしい時間の使い方を見出し、土曜日を有効に過ごす主体性を養うきっかけを作るためです。

**青柳** 練成中学校では、今後は「マイトタイム」といつて生徒に家庭で自主的な過ごし方をさせることを中心に試行を進めます。そのために、スポーツ・文化・学習・趣味にわたる手引書を作成しました。

**鎗田** いずれにしても、土曜日を休

みにして、学校でやるべきことを家庭や地域に押しつけているのではありません。学校・家庭・地域の三本の柱で支えあつて健全な子どもを育てる、これが教育だと思つています。

### ふえるか？ 塾通い

**中馬** 中学生の場合、親も子ども三年間受験のことが頭から離れません。クラスで塾に行つていない子が一人しかいないというのが実情です。土曜日が休みになつても、結局土曜日に行つていない塾を探して行くことになつてしまつてはいけません。

**小松** 中学だと学校の勉強だけでは受からないというのが常識みたいになつていきますね。

**中馬** そのような話が親同士の会話の中でどうしても増幅されて広まってしまうんですよ。

**司会** 子どもたち自身はどうなんでしょうね。もちろん、自分から進んで塾へ行こうという子もいると思います。むしろ親が子どもをどう育てるかという問題になつてしまつて思ふのです。

**河野** 私は子どもに余り無理をさせたくないで、日曜テストなどもなるべく避けています。子どもの状況

につけていかなければならないと思ふいます。

**鎗田** 親子のふれあいの機会が増えること、子どもの生活体験が増えること、この二つは週五日制の大きなメリツトだと思いますね。

**久保田** 手伝いでいいし、スポーツでもいい。子どもが主体性をもつて取り組むなら何でもいいと思ふんです。とにかく、勉強以外にいろいろな体験をしておくことが大切だと思います。

**小松** よくわかりました。でも学習の面で、昔みたいに学校の勉強だけで十分だというふうな見直しをしていただきたいですね。

**鎗田** そういった意味で学校の責任は大きいと思います。今私たちが



芳林小の児童と一緒に、土曜生け花会(練成中)

をよく見て、家庭の考え方にあつた塾を選んでいきます。塾を選ぶことも親の大切な役目だと思つています。



青柳校長

**青柳** 塾でも成果はあるでしょうが、根本はふだんの学校の授業です。一時間一時間の授業を大切にしてい、集中して聞いている生徒は、それが受験の結果となつて表れるものです。ただ塾に行つて長い時間勉強すればいいというのではなく、短時間でも集中できるようにすることが大切だと思います。その力を回復、培養するための「ゆとり」が土曜休業ではないでしょうか。

### 心のゆとり大切に

**司会** 子どもをどう育てるかという大きな観点から考えた場合、土曜日が休みになつたときの過ごし方について、皆さんはどうお考えですか。

**河野** 子どもが小学生のうち、親

知識をさずけるのではなくて、知識を生み出す力をつけていくという考え方で授業研究を進めています。つまり、今までの受け身の教育・教え込む教育から、自分で考える教育への移行を目指しています。

**青柳** 新しい学習指導要領では、知識理解よりも意欲とか思考力・表現力・判断力を重視していきます。今、登校拒否とか偏差値教育とか言われている中で、「学校週五日制」がそういうものを払拭する突破口となるように、これからの学校のあり方についてみんなが見直しをすることが大切だと思います。そして、子どもたちが自主的に活動できる場をできるだけ多くつくつてあげることが、大人に課せられた大切な仕事だと思ふます。

**司会** 皆さんからいろいろご意見を伺つてきましたが、単に受験のための学力をつけるだけではなくて、豊かな人間性や生き方という観点から子どもの育て方ということを考えれば、土曜日は家庭ですごすということも価値があると思ふます。今日の話をきつかけに、もう一度考える機会をもつていただきたいと思ふます。今日はお忙しいところ、ありがとうございました。

### スポーツ交流

#### 姉妹都市との「かけはし」

スポーツを通じて姉妹都市の子どもたちとの友好を深めようと、スポーツ交流事業が盛んに行なわれています。

#### 群馬県嬭恋村との少年野球

八月四日、錦華フェローズと嬭恋村の干保アローズが対戦。快晴の空のもと、嬭恋のさわやかな高原の風を受けて熱戦が展開されました。試合後、嬭恋村自然休養村でバーベキューを囲んでの楽しい交歓会が行なわれました。



円陣組んで、さあ行くぞ！

#### 秋田県五城目町との剣道大会

八月十八日、夏祭り(きやどっこ祭り)に沸く五城目町で、万世剣友会と地元の小・中学生との対戦。夜は盆おどりに参加し、地元の子どもたちと楽しくすごしました。

#### 五城目町に行つて

万世剣友会 小六羽場 智子  
羽田から飛行機に乗って、秋田県の五城目町へ剣道の試合をしに行きました。試合の朝、いつも元気な私達は、きんちようしてなぜか元気がなく、うきうきした気分になれませんでした。練習の後、試合が始まりました。私は大将で出ましたが、あつという間に「メン」二本取られてしまい負けてしまいました。相手は全国レベルの強敵で、私達の剣友会は男子の部で一人しか勝つことができませんでした。交流試合が終つて、私達はいつもの明るさにもどりました。夜は試合をした子たちと食事をして、すぐ仲良くなりました。食事が終つてから盆おどりに行き、みんなからおどりを教えてもらい、とても楽しかったです。今年の夏休み、私にとって一番の思い出になりました。秋田の子ども、また会いたいです。

# 「勉強に身が入らぬ」

学習意欲が低く、学業不振といっても、その実態はさまざまです。その子固有の原因をとらえることは容易ではありません。その原因を分類すると、①身体 ②知的能力 ③性格 ④家庭環境 ⑤学校環境等が考えられます。

身体に原因がある場合には、その子の健康状態や生活のリズムを配慮することが必要になるし、知的能力に原因がある場合は、子どものもっている力を見定め、できるだけ個別的に繰り返し指導することが、必要になります。性格に原因が有るならば、規則正しい生活をさせ、心身を鍛えることや、劣等感をなくす

「中学一年の男子です。学校から帰ると家でゴロゴロして、勉強が手につきません。成績も下がる一方です。小学五年までは成績も良く、がんばっていました。その後家業が忙しくなり、子どもの面倒を十分にみる事ができなくなりました。そこで塾に通わせたり、家庭教師をお願いしたりしましたが、かえって勉強しなくなっていました。中学に入ってから、生活もルーズで投げやりになり、注意すると反抗的になることもあります。高校進学を控え、何とか立ち直らせたかったのですが……」

といった相談が、ある母親から担任の先生にありました。そこで今回は、子どもの学習意欲をテーマに考えてみました。

ために長所を伸ばす工夫が大切になります。また、家庭環境や学校環境に原因がある場合ならば、家族や学級・学校の雰囲気、親や先生・友人との人間関係の改善を図ることが必要になります。要は子どもを人間全体としてとらえ、その子どもの固有の原因を的確に把握して指導することが必要です。

このケースの場合、詳しく事情を伺って見ますと、複雑な家庭環境が背景にあったようです。この子にとって、家庭内で相談ののつてくれる相手が誰もいない状況に追いこまれていたようです。

学業不振の原因には、本人の自立が年齢相応でないことなど、いろいろあると思われまます。このケースでは、両親の意見が対立しがちで親同

士の話し合いが不十分であったり、親子の信頼関係がもてなかったりすることも一因となっています。そして、「この子は出来ない」と決めつけて、もはや進歩はないと突き放してしまふと、本人もそう思い込んでしまい、学習意欲を失ってしまいます。

「子を見るは親に如かず」といわれますが、何といっても親が一番の子どもの理解者です。子どもを変化・発達しつつある存在としてとらえ、その可能性にかけることです。父親の理解協力を得て、辛抱強く子どもとの関わり方を見直し、親の一方的な意志ではなく、子どもの意志をどう受け止め、伸ばすかを考えることです。

とくに進路決定を控える頃になると心が不安定になり、様々な不安や悩みを持つようになります。時には、自分の身をどう処していいかわからなくなる場合もあります。

子どもを一人の独立した人格として認め、子どもに寄りそったり、見守ったり、突きはなしたりして意欲を高めてやる親の態度が必要です。

本区には専門の相談機関があります。内神田にある教育研究所教育相談部(☎三二五六一八四〇)にお気軽にご相談下さい。秘密は守ります。

## 学校栄養士さんのワンポイントアドバイス

実りの秋です。食欲の増す季節ですが、健康な生活をおくるためには食べすぎに注意するとともに、バランスの良い食事をする事が大切です。そこで今回は、栄養のバランスについてお話ししましょう。

◎主食+主菜+副菜型の食事を!

主食 ご飯・パン・めんなど糖質を多く含む食品で、体のエネルギー源となるもの

主菜 肉や魚、大豆製品など、たん白質や脂肪を多く含む食品で、血液や筋肉となるもの。

副菜 野菜などビタミン・ミネラルを多く含む食品で、体の調子を整えるもの。

この主食・主菜・副菜を片寄らないよう上手に組み合わせると、多くの栄養素を確保することが出来ます。これに牛乳・ヨーグルトなどの乳製品を加えれば理想的です。「一日三十食品」が目標。少しずつでもかまいません。多くの種類の食品を幅広く、かつバランス良くとりましよう。そして適度な運動も心がけ、健康な毎日!



## お正月をスキー場で!



スキー講習会のご案内

とき 平成4年1月2日(木)～6日(月) 4泊5日(うち車中1泊)

ところ 志賀高原 熊の湯スキー場(往復バス利用)

募集定員 一般の部(中学生以上) 70名(区内の中学生及び区内在住・在勤者)  
小学生の部(3～6年生) 30名(区内の小中学生)

会費 42,000円(バス代、宿泊料、保険料を含む)

申込 11月6日(水)より 先着順に受付  
申込金 22,000円を添えてスポーツ振興課へ

問合せ スポーツ振興課(内神田2-1-8 総合体育館内) TEL(3256)8444

## 校外施設だより 保田臨海学園



区立保田臨海学園は、東京湾に沿って百キロ余り、千葉県鋸南町にあります。房総の名山鋸山を背景にした宿舎のすぐそばには、波静かな海水浴場が広がっています。この恵まれた環境を利用して、毎年夏中学一年生を対象とした三泊四日の臨海学園が開設されています。

各学校では、生徒の水泳能力に応じたグループをつくり、それぞれに合った活動が行なわれていま



遠泳中にVサインを出す余裕も

す。とくに泳ぎの得意な生徒には、遠泳を中心にプログラムが組まれています。沖合に浮かぶボートの上で先生方がしっかりと見守る中、一時間近くも泳ぎ続けることは、持久力を養うのにもっとも良い機会となることでしょう。また泳ぎの不得手な生徒も、ビーチボールの助けを借りて沖合へ出ます。水に親しむことで、水に対する恐怖心がなくなり、自信がついて泳ぎが上達するようです。

水泳の合い間のひとときは、砂浜でスイカ割りや「砂の芸術」づくりを楽しみ、夜はキャンプファイヤーを囲んでの集いなど、学園の周囲には歓声が絶えません。子どもたちにとってこの臨海学園での四日間は、思う存分自然や人とふれあうことができ、充実した生活となったこと



これも、砂の芸術?

情報機器が発達するにつれ、パソコンやワープロを使いこなすことが社会人の条件になる時代になりつつある。

出現当時、専門家しか使いこなせなかった高度な性能のマシンが子供にも使えるところまで進歩したのは大変結構だが、はっきり言ってマイナスの面も出てきている。別に進歩に水をさすつもりはないが、ここで二つの問題提起をしておきたい。

日本人が現代世界でもっとも暗算能力のすぐれた民族であることは、はっきりしている。これは小学校で九九の暗誦を教えるせいで、驚いたことにヨーロッパやアメリカの小学校では日本のように九九の暗記をやらないうらい。外国で買物をすると、おつりの計算に手間どるのは彼らが暗算で掛け算することが得手でないせいである。九九の暗記はそれほど重要のためにはぜひ必要だったからである。そろばんこそは世界に誇る日本のお家芸で現代唯一存在するアナログ計算器なのである。ところが電卓は全く暗算を必要としない。低学年から電卓を常用させると暗算ができなくなってしまう。この危険性を声

を大にして言う人がいないのは不思議である。電卓の使用は少なくとも五年生以上からにすべきである。

日本語は仮名まじり漢字文というユニークな表音表意混用の言葉で、現代世界で唯一のものである。日本語は世界でもっとも速読速記に適し

## ハイテクに要注意

教育委員

藤井康男



ている言葉なのである。一字で多くの意味を表わし、偏とつくりから読めない字でも想像がつく。日本人なら誰でも書ける字の他に、書けないが読める字が数百以上ある筈である。魍魎魍魎などという字を書ける人は少ないが、ほとんどの人が読め

るであろう。

ワープロはまことに便利だが、やはり漢字を書けるようになってからでないかと字を覚えないうでしましう。これも低学年では、いやもしかしたら小学校では使用させないことが教育上必要ではないか。漢字文化が亡びることはおそらく日本人の思考形態にも大きな変化が起ころ文化の衰退につながるおそれなしとしない。子供の方がパソコンに強い。ゲームボーイをいじってみたがとてもついていけない。しかしよく注意してみると、マイコン・パソコンにのめりこむと人間の思考までがデジタル化する。「指示待ち人間」ということがよくいわれるが、度がすぎると顔まで無表情になり端末機のような人間ができてしまふ。限度を心得て使うことは子供にはムリなのである。未成年に飲酒や喫煙を禁じることと同じく、基礎的能力を身につける前には使用上注意すべきハイテクは多いと思うがいかがなものであろうか。

ふじい やすお  
昭和59年から教育委員  
会社社長

きょういく随想

◆「学校週五日制」の座談会では、非常に熱のこもった意見が交わされました。受験競争が激しい中、何かが忘れられているような気がしています。子どもの自主性や人間性が話題になっていましたが、いずれも一朝一夕に養われるものではありません。二十一世紀にはばたく子どもたちの将来にかかわる問題です。今、何が求められているのか、何が本当に大切なのかという原点に戻って、みんな「学校週五日制」について考えてみたいものです。

◆この教育広報「かけはし」は、皆様に教育委員会を身近に感じていただけるよう、できるだけわかりやすい文章で、親しみやすい紙面にすることを心がけて編集しています。ご意見・ご感想がございましたら、ぜひお寄せ下さい。皆様の声をお待ちしております。

教育広報「かけはし」第二号  
平成3年10月25日発行  
編集発行/千代田区教育委員会  
〒102 千代田区九段南1-6-11  
☎(03)264-0151内414